

令和8年度 伊仙町立鹿浦小学校学校経営グランドデザイン



基本理念

児童と教職員が共に学び楽しむ学校
～ウェルビーイングの向上～

自分が好き みんなが好き 学校が好き

学校教育目標

知行一致
キラリ！鹿浦っ子の育成

「考える」

基礎学力を習得し、自ら問いを立て、考え、判断し、必要に応じて仲間と協力し、自己調整を図りながら、粘り強く課題を解決できる鹿浦っ子

「思いやる」

人権感覚を身に付け、相互に承認する感度を持ち、自他の命を大切にできる鹿浦っ子

「がんばる」

自ら進んで体と心を鍛え、前向きに挑戦し、あきらめずに最後までやり抜くことができる鹿浦っ子

生きる力の基

〈目指す教職員像〉

児童・地域と共にある教職員・常にアップデートする教職員・自分や家族を大事にする教職員

令和8年度の重点と主な取組例

〈重点1〉主体的・対話的で深い学びの推進

- ◆ 学習者主体の学びへの転換
 - ・教師が学習の「伴走者」として、学びを「ファシリテート」することを意識した授業づくりを行う。教師はファシリテーターとしてのスキルを身に付けるための研修を深めていく
 - ・個別最適な学びが行える学習環境を創造する（タブレット等の積極的利活用、他校との遠隔合同授業）
- ◆ 基礎学力の徹底した定着
 - ・読む力・文を書く力・漢字力・計算力の向上を図る。
 - ・豊富な語彙力の習得と活用に努める（定期的な時間設定）
- ◆ 自発的な家庭学習の推進
 - ・自ら学びを計画し、自己調整しながら主体的な学びができる「学習力」を育成していく
 - ・タブレットを活用し学校と家庭と連携した家庭学習の充実に努める
- ◆ 外部団体や講師との密接な連携
 - ・オンライン英会話、環境教育、「学習者主体の授業」等への積極的な連携を図る

〈重点2〉自己指導力を育む生徒指導の推進

- ◆ 心理的安全性のある学級・学校づくり
 - ・自他の得手・不得手を認め合う学級・学校をつくる
 - ・失敗や間違いを笑顔で包む雰囲気醸成する
- ◆ 自己決定力・自己解決能力の育成
 - ・「3つの言葉かけ」（どうしたの？、あなたはどうかしたいの？、何か手伝ってほしいことはある？）を日頃から実践し、メタ認知力を高める
- ◆ 自己有用感や自己肯定感等の醸成（ウェルビーイングの向上）
 - ・「ほめる種・認める種」を日頃から蒔く
 - ・結果よりも過程でほめる
 - ・否定語を排する
 - ・互いに認め合う時間を定期的に設定する
- ◆ 互いに連携・協力した対応の実施
 - ・当該職員のみでの対応ではなく、全職員で共通理解し対応することで、速やかな解決に導く
- ◆ 読書の充実
 - ・学校司書、「はこぶっく」の有効活用を図る

〈重点3〉気力・体力づくりの向上

- ◆ 「汗をかく」体育授業の実践
 - ・全ての児童が意欲的に活動する授業づくりに取り組む（ルールや場の工夫、支援体制の工夫等）
 - ・実態に即した目標設定を行い体育授業の充実に図る
 - ・「チャレンジかごしま」を積極的に導入し、楽しくやりがいをもたせながら体力・運動能力を育む
- ◆ 「自分の体を大事にする」ことを意識する健康教育の推進
 - ・個々の児童の実態を正しく認識し、生涯にわたって健康に生きる力の基礎を身に付ける
 - ・養護教諭や栄養教諭等との積極的なTT指導をとおして、必要な知識・実践力を身に付ける
 - ・歯や口の健康に関する学びを深める
- ◆ 安全教育の充実
 - ・各種訓練をつうじて自分の命を意識し、守る態度を育む

〈重点4〉地域貢献能力の育成

- ◆ 地域素材・人材の積極的活用
 - ・総合的な学習の時間や道徳、社会科等での活用を図り、ふるさと学習の充実に努める
 - ・学校周辺の地理を生かしながら、体験的な学習の充実に図る
 - ・地域に伝わる島唄や踊りなどを学ぶ機会を多くもち、地域と学校が協力して継承していく
 - ・地域の情報を的確に把握し、自発的な参加を促す
- ◆ 学校評価の建設的な活用
 - ・保護者向け学校評価アンケートや学校運営協議会、学校活性化委員会等の意見を積極的に学校運営に反映し、より一層教育課程を地域に開いていく

